

報道発表資料

相談解決のためのテストから No.107

平成 29 年 1 月 19 日
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

内部の配線がショートしていたヘアドライヤー

1. 依頼内容

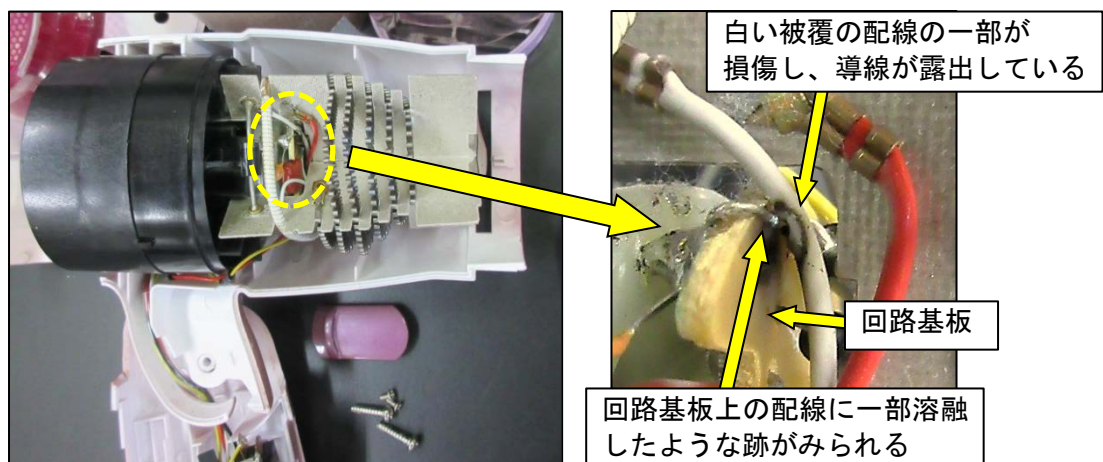
「ヘアドライヤーを使用したところ、吹き出し口から火花が出た。火花が出た原因を調べてほしい。」という依頼を受けました。

2. 調査

当該品は 1200W のヘアドライヤーで、3 年近く使用されたものでした。外観上の異常はなく、動作確認を行ったところ正常に動作し、火花の発生は再現しませんでした。

そこで、当該品を分解して内部を調査したところ、白い被覆の配線の一部が焦げて内部の導線が露出しており、回路基板上の配線には一部溶融したような跡がみられました。白い被覆の配線は交流 100V がかかるもので強固な固定をされておらず、取扱中の振動などで若干位置がずれることがあるものと考えられました。また、一部溶融がみられた回路基板上の配線との間には大きな電位差があったほか、非常に近接した位置にありました(写真)。

写真. ドライヤー内部の様子



以上のことから、何らかの原因により被覆の一部が損傷した交流 100V の配線が、回路基板上の配線に一時的にショートしたことによって火花が発生したものと考えられました。

なお、動作確認で当該品が正常に動作したのは、これらの配線が一時的にショートしたものの、いずれも断線には至らず、その後、接触しない位置にずれたためと考えられました。

3. 解決内容等

テスト結果を事業者に説明したところ、配線が不確実な状態で組み込んでしまったためにショートに至ったと推測されるとのことでした。また、当該品は既に生産が終了しているが、生産中の類似製品において同様の不具合が発生しないよう、本事例を直ちに社内に周知するとともに、配線作業ならびに作業後の状態確認を徹底し、品質向上に努めるとの報告がありました。

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165